

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | | |
|---------------|--|-----|-------------|---------|
| 科目名(英) | 経営学入門(Guide to Business Administration) | | 授業コード | E012101 |
| 担当教員名 | 工藤 順一 | | 科目ナンバリングコード | E10102 |
| 配当学年 | 1 | 開講期 | 前期 | |
| 必修・選択区分 | 必修 | 単位数 | 2 | |
| 履修上の注意または履修条件 | コンビニやドラッグストアに行くときは、お客様として買い物に行くのもよいのですが、社長になったつもりで行くと、見方が一変します。店員さんの対応や陳列の仕方、営業時間や広告の仕方等何でも興味を持ってみるようにしましょう。そして、授業に出てきてください。 | | | |
| 受講心得 | 経営はいたるところに存在します。自分自身の経営、家族の経営、そして、会社の経営です。あなた自身が、経営者になったつもりで、自分だったらどうするかをいつも考えて受講してください。 | | | |
| 教科書 | 最初の講義で説明します。 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 「経営学」公務員テキスト13TAC出版、「テキスト経営学(増補版)」井原久光著 ミネルヴァ書房、 | | | |
| 関連科目 | 経済学、経営学総論、監査論等の各科目 | | | |

| | |
|-------|---|
| 授業の目的 | 「企業とは、一体何なのか、どういう仕組みなのか、そこで何が行われているのか」、「経営とは、誰が何をするのか」、「なぜ、企業が発展したり、消滅したりするのか」等企業の経営活動の基礎を理解し、経営全般に関わる専門科目の勉強の準備をします。 |
| 授業の概要 | 企業及び企業活動に関する基本的な知識を広く身につけるために、企業経営に関わる基本事項について順次解説するとともに、大分県の企業について新聞記事等により具体例を示しながら、企業経営の実際について理解を深めていきます。 |

| ○授業計画 | |
|--|-------------------|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週：経営学とその位置づけ 普段は、漠然としか捉えていない経営学について、その研究対象や研究領域を明らかにし、経営学の位置づけを探ります。また、われわれの生活と企業との関わりを改めて認識する学習をします。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第2週：会社法 経営学を学ぶに当たり、その主たる対象である株式会社の設立等に関する法律を学びます。会社の立法趣旨や株式会社の設立の仕方を学びます。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第3週：企業の特徴 企業とは何か、その存続の基本は何か。企業の生成・発展とわれわれの生活への影響の変遷を追いながら、企業の果たすべき役割をいろいろな切り口から捉えます。そして、企業の功罪及び今後の在り方を探り、われわれ自身の生活の在り方を考えます。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第4週：コーポレートガバナンスについて 会社は誰のために存在するのかについて学習します。会社というものをどうとらえるかによって、つまり経営者の考え方により会社の経営は異なってきます。その基本的な考え方を学びます。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第5週：企業の形態及び所有と経営の分離 株式会社の特徴を学ぶとともに、所有と経営の分離、現在企業の所有構造の特徴と企業経営への影響について学習します。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第6週：経営管理論 伝統的管理論(1) テーラーの科学的管理法について学びます。テーラーの科学的管理法は、19世紀末の産業化の急速な進展のもとで、企業規模の拡大と組織の複雑化の中から生まれた体系的な管理論です。 | 配布資料 演習の課題と解答例 |

| | | |
|--|-----------------------------------|-------------------|
| 第7週：経営管理論 伝統的管理論(2) | | |
| ヘンリーフォードの設立したフォード自動車会社で採用した生産の仕組みをフォードシステムと呼びますが、合理性を徹底して追求したこのシステムの根幹となっている標準化と移動組立法等について学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第8週：経営管理論 行動科学的モチベーション | | |
| 人は、職場の人間関係だけでなく、仕事そのものが面白い場合に、より大きな意欲を感じるものであり、仕事を通じて自己実現の欲求を満たすといった「行動科学的モチベーション論」について学びます。また、マズローの欲求5段階説等も学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第9週：経営組織論 (1) | | |
| 実際の企業経営における組織や構造、さらにはその形態はどのようなものであるかについて、事務的な部署、生産現場と重ね合わせて、ライン組織、スタッフ組織等に分類して、経営組織の基本構造を学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第10週：経営組織論 (2) | | |
| 企業の組織構造について、古典的組織理論である一般原則であるマックスウェバーの官僚制組織や「組織は戦略に従う」と唱えたチャンドラーの研究等について学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第11週：経営戦略論 (1) | | |
| 企業はただ無計画に行動するのではなく、計画(戦略)を立てて事業遂行しています。この講義では、経営戦略の定義や経営戦略の構造、企業戦略について学習していきます。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第12週：経営戦略論 (2) | | |
| 企業は、同業他社や異業種でありながらシェアを食い合う関係にある他の企業と厳しい販売競争をしています。そして他の企業に負けることは会社の倒産につながります。そこで、競争市場・競争戦略の基本類型・製品サイクルと競争戦略等について学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第13週：経営戦略論 (3) | | |
| 経営戦略論には、前2回の経営戦略論の議論の他にも「選択と集中、SWOT分析、SCPモデル等」の様々なキーワードがありますので、それらのキーワードについて学習していきます。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第14週：日本的経営論 | | |
| 「終身雇用、年功序列、企業別組合」等の日本的経営スタイルを学ぶとともに、それがアメリカの企業のものとうどう違うのか、日本的経営のメリットとデメリットは何かについて学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第15週：リーダーシップ論 | | |
| 企業経営を行うに当たり、組織内の構成員をいかに目標に向けて導くのか、組織全体や組織内のリーダーシップは重要です。そこで今回は、その定義や特性について学習します。 | | 配布資料 演習の課題と解答例 |
| 第16週：期末試験 | | |
| 第1回から第15回までの授業について試験を行います。 | | 配布試験資料 試験と解答例 |
| 授業の運営方法 | (1)授業の形式 | 「講義形式」 |
| | (2)複数担当の場合の方式 | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | |
| 地域志向科目 | カテゴリー III:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | |
| 備考 | | |

| ○単位を修得するために達成すべき到達目標 | |
|----------------------|---|
| 【関心・意欲・態度】 | あなた自身が経営者になったつもりで取り組んでください。また新聞に載っているいろいろな記事に興味を持って、まずその記事を理解するように努めましょう。 |
| 【知識・理解】 | 経営学の基礎知識については、覚えるところもありますが、できるだけ理解するようにしましょう。他の学生に説明するつもりで勉強されるとよく理解できるでしょう。 |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 授業の中で、DVDを使って講義することがあります。このビデオを見ながら、もしくは見た後でレポートを提出していただきます。皆さんの考えを、レポートの中に表現してください。 |
| 【思考・判断・創造】 | どのような問題に対しても、「なぜ？」と考えてみてください。それも何度も、なぜ、なぜというように突き詰めていきましょう。そうすることで、判断の仕方や創造の仕方も学べるでしょう。 |

| ○成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|---|-----------------|---------------|--------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等(テスト) | レポート・作品等(提出物) | 発表・その他(無形成果) | |
| 【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | 10点 | 10点 | 10点 | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。 | 10点 | | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | 20点 | | | |
| 【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。 | 20点 | 10点 | 10点 | |

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

| ○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | |
|------------------------------------|--|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
| レポート・作品等(提出物) | 原則として、毎回講義の初めに課題を出します。提出をもって出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル:ほぼ満たしている。Bレベル:なんとか満たしている。Cレベル:一部分満たしている。 |
| 発表・その他(無形成果) | 授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。 |